

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	10010000	水道環境課・環境係				
大事業 C D	02	(目標)		-				中事業 C D	02	(施策)		-				
		(政策)								(主要な取り組み)						
小事業 C D	01	自然環境保全事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	特定外来生物の駆除（防除）の実施		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない	目標値	4	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額
○ 経 費 計	8, 170	特定外来生物であるアルゼンチンアリの生息が確認されている	8, 408	4, 678
1 報酬		酒倉（池端・中組・茶屋・雲埜北）、取組（取組第4）の住民		
2 〜4給料手当等		・事業所に対して防除剤を配布するとともに、アルゼンチンアリ		
5 災害補償費		の生息状況等の調査を委託にて実施する。		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	1, 881		2, 116	1, 389
1 消耗品費	1, 881		2, 116	1, 389
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	6, 289		6, 292	3, 289
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	8, 170	基準額・補助率・歳入科目コード等	8, 408	
1 国庫支出金	4, 084			
2 県支出金		清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金	4, 203	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	4, 086		4, 205	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 4101】（環境・景観）「自然環境を保全するための意識啓発及び活動の推進」			
町内で特定外来生物に指定されているオオキンケイギクの繁殖と、アルゼンチンアリの生息が確認されており、地域固有の自然資源や生態系を脅かしている。周辺の自然環境に興味・関心を持ち、町固有の資源や景観を守る意識を高めていく。 自然環境が坂祝町にもたらす多面的な効果を理解し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動を進める。			
事業の概要		オオキンケイギク、アルゼンチンアリをはじめとする特定外来生物の駆除により、地域固有の在来種の保全を進める。	
事業の実績		令和 5 年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約100人 / 5年度目標 100人 令和 4 年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約180人 / 4年度目標 100人 令和 3 年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約50人 / 3年度目標 100人 令和 2 年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約50人 / 3年度目標 100人 令和 元年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約270人 / 元年度目標 250人 平成30年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約240人 / 30年度目標 250人 平成29年度 オオキンケイギク駆除作戦 参加者約250人 / 29年度目標 250人	
事業の成果指標		事業の目標値	
地域住民、事業所、ボランティアと協力した特定外来生物の駆除（防除）の実施回数		単位	回/年度
		R07 年度末	4
		R08 年度末	
		R09 年度末	
R07 年度の到達目標（課題・改善策等）			
オオキンケイギク駆除を継続的に実施し、自然環境を守るための意識啓発や環境保全活動を進める。 アルゼンチンアリの防除を地域住民・事業所の協力のもと、継続的に実施する。			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R07 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R07 年度の上限額	0	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	11	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	生ごみ堆肥化推進事業				事業年度	R03 ～ R12			成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)													
	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額					
○ 経 費 計	161	電気式生ごみ処理機、コンポスト、枝葉粉碎機を購入した者に 対して補助金の交付を行う。					164	112					
1 報酬													
2 〜4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交	161						164	112					
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	161	基準額・補助率・歳入科目コード等	164	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	161		164	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 4201】（廃棄物対策）「ごみ減量化の推進」	
可燃ごみの多くを占める生ごみの減量化に向け、電気式生ごみ処理機・コンポストの活用を促進する。また、野焼きを防止するため、伐採によって発生する樹木等を細かく粉碎する、枝葉粉碎機の活用を促進する。	
事業の概要	
電気式生ごみ処理機、コンポスト、枝葉粉碎機の購入補助を行う。 補助制度を継続してきているが、補助制度の活用が少ないため、補助制度を啓発し、積極的な補助制度の活用を促進する。	
事業の実績	
令和 5 年度	13件 可燃ごみ排出量 実績438g /日あたり
令和 4 年度	7件 可燃ごみ排出量 実績457g /日あたり
令和 3 年度	22件 可燃ごみ排出量 実績469g /日あたり
令和 2 年度	19件 可燃ごみ排出量 実績453g /日あたり
令和元年度	6件 可燃ごみ排出量 実績433g /日あたり
平成30年度	4件 可燃ごみ排出量 実績417g /日あたり
平成29年度	2件 可燃ごみ排出量 実績414g /日あたり
平成28年度	4件 可燃ごみ排出量 実績408g /日あたり
事業の成果指標	
事業の目標値	
単位	
R07 年度末	
R08 年度末	
R09 年度末	
R07 年度の到達目標（課題・改善策等）	
継続的に補助制度の活用促進を図る。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R07 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R07 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	13	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	資源物収集事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)													
	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額					
○ 経 費 計	6,890	資源物 (ペットボトル・白色 (食品) トレイ・蛍光灯・水銀式					3,257	3,172					
1 報酬		体温計・飲料用紙パック容器・廃食用油・廃乾電池) を収集場											
2 〜4給料手当等		所にて収集する際の立会いを、町シルバー人材センターに委託											
5 災害補償費		する。											
7 報償費		また、収集した資源物を、収集場所から収集運搬する作業を、											
8 旅費		一般廃棄物収集運搬業者に委託する。											
9 交際費													
10 需用費	125	家庭から排出される古紙類、飲料缶、飲料ビン、ペットボトル					122	78					
1 消耗品費	5	、食品トレイなどの「資源物」を収集するエコステーションを					5	1					
2 燃料費	120	設置することにより、町民の方々の分別意識の向上及び可燃ご					117	77					
3 食糧費		みの排出削減を基本目的とし、地域の環境問題に密着したエコ											
4 印刷製本費		ステーションを目指す。											
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料	6,765						3,135	3,094					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	6,890	基準額・補助率・歳入科目コード等	3,257	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	94		182	
5 一般財源	6,796		3,075	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4203】（廃棄物対策）「リサイクルの推進」	
循環型社会の形成のため、可能な限りリサイクルするよう啓発するとともに、リサイクルしやすい環境づくりを推進する。	
事業の概要	
資源物（ペットボトル・白色食品トレイ・蛍光灯・水銀式体温計・飲料用紙パック容器・廃食用油・廃乾電池）を収集しリサイクルする。	
エコステーション設置により、プラスチック類、鉄くず類、ビン類、古紙類等を収集し資源化を図る。	
事業の実績	
令和5年度 町の資源物回収量 実績5.44t／資源物収集12回実施 令和4年度 町の資源物回収量 実績5.37t／資源物収集12回実施 令和3年度 町の資源物回収量 実績6.34t／資源物収集12回実施 令和2年度 町の資源物回収量 実績6.42t／資源物収集12回実施 令和元年度 町の資源物回収量 実績5.98t／資源物収集12回実施 収集立会を委託し、資源物の適正処理についての指導啓発を実施。 ※令和元～3年度ペットボトルの品質検査により『Aランク』の判定。	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R07 年度末
	R08 年度末
	R09 年度末
R07 年度の到達目標（課題・改善策等）	
引き続き、資源物の適正処理を指導啓発する	

事務事業評価の結果 (1 次)	—	R07 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果 (2 次)	—	R07 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 査							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	13	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	02	ごみ資源化推進事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額
○ 経 費 計	110	資源物（新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・牛乳パック・古着・アルミ缶）を回収した団体（子ども会等）に対して、その回収量に応じて奨励金を交付する。	120	120
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	110		120	120
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	110	基準額・補助率・歳入科目コード等	120
1 国庫支出金			
2 県支出金			
3 町債			
4 その他特財			
5 一般財源	110		120

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★ 7 次総 4203】（廃棄物対策）「リサイクルの推進」		
リサイクルできる資源の収集量に応じて奨励金を支出するなどを行い、一層の資源物回収量の増加を図る。		
【補足説明】 循環型社会の構築のためには、資源の有効活用とリサイクル意識を高めることが必要であり、廃食油回収事業や資源集団回収事業に対する奨励金交付するにより、環境保全に対する町民意識の高揚につながる。		
事業の概要		
増え続けるごみの量にストップをかけるとともに、資源として有効に利用できるごみの再生利用と、資源の大切さを認識していただくために、資源として再利用できるものうち、新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボール・牛乳パック・古着・アルミ缶を集団回収している団体に対し、その回収量に応じて奨励金を交付する。 回覧等で収集日などを周知することで、回収量を増やす。		
事業の実績		
令和 5 年度	資源回収の収集量	24.6 t
令和 4 年度	資源回収の収集量	19 t
令和 3 年度	資源回収の収集量	22 t
令和 2 年度	資源回収の収集量	14 t
令和元年度	資源回収の収集量	77 t
平成30年度	資源回収の収集量	85 t
平成29年度	資源回収の収集量	96 t
平成28年度	資源回収の収集量	96 t
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R07 年度末
		R08 年度末
		R09 年度末
R07 年度の到達目標（課題・改善策等）		
資源集団回収による、回収量が減少傾向にある一方、民間企業等において資源物の回収できる環境が増加しているが、資源の適正な処理につながるものとなっていない。今後、資源の適正な処理について啓発していく。		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R07 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R07 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	15	(施策)		—		
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—		
小事業 C D	01	環境負荷低減事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額
○ 経 費 計	1,216	岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画に基づき、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を受けた、岐阜県太陽光発電設備等設置補助金を活用し、太陽光発電設備等を設置する町民に対し、設置費用の一部補助を行う。 (令和4年～令和7年度までの時限事業)	3,040	2,372
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,216		3,040	2,372
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,216	基準額・補助率・歳入科目コード等	3,040	
1 国庫支出金				
2 県支出金	1,216		3,040	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源				

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 4205】（廃棄物対策）「環境の負荷の低減に向けた取り組み」持続可能社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入を推進するため、住宅に設置する太陽光発電設備等の設置費用の一部補助を行う。			
事業の概要		住宅に設置する太陽光発電設備等を推進することにより、CO2削減を推進する。	
事業の実績		令和6年度 太陽光発電設備等設置補助 2件 令和5年度 太陽光発電設備等設置補助 4件 令和4年度途中からの事業開始のため、実績無し	
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R07 年度末	
		R08 年度末	
		R09 年度末	
R07 年度の到達目標（課題・改善策等）		太陽光発電設備等の設置件数 1 件	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R07 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R07 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係		
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	17	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	畜犬登録経費					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)													
	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額					
○ 経 費 計	182	飼い犬の登録の手続きを行うとともに、犬の飼育が適切にされるよう啓発・指導を行う。					153	555					
1 報酬		4月に狂犬病集合予防注射を実施するとともに、狂犬病予防注射が適切に接種されるよう啓発・指導を行う。											
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費	28						25	83					
1 消耗品費	28						25	83					
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費	66						51	47					
12 委託料	88						77	425					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	182	基準額・補助率・歳入科目コード等					153	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財	182						153	
5 一般財源								

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 4207】（廃棄物対策）「家庭や地域における環境マナーの定着」			
ペットの飼い方についてマナーの向上。狂犬病予防注射の接種率の向上を図る。			

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	10010000	水道環境課・環境係			
大事業 C D	02	(目標)		—				中事業 C D	17	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	02	不法投棄防止事業				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額
○ 経 費 計	2,314	町内を巡回パトロールし、不法投棄多発場所への看板の設置、不法投棄ごみを早期回収する等の作業を、町シルバー人材センターに委託する。	2,235	2,146
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費		また、広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していくとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	254		270	314
1 消耗品費	68		89	168
2 燃料費	186		181	146
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	2,060		1,965	1,832
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	2,314	基準額・補助率・歳入科目コード等	2,235	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	2,314		2,235	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4207】（廃棄物対策）「家庭や地域における環境マナーの定着」	
幹線道路沿いなどでは、空き缶やペットボトルなどのごみのポイ捨てが依然としてみられる。また、ごみ収集所などへのごみの放置やごみの不法投棄なども後を絶たない。ごみのない清潔できれいなまちづくりのためには、良好な環境づくりに関する意識啓発を、全町民に向けて行っていく。	
事業の概要	
町内を巡回パトロールし、不法投棄ごみを早期回収する。 広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していく。 不法投棄多発場所に看板を設置するとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。	
事業の実績	
不法投棄巡回パトロールを週3回実施することで、不法投棄の早期発見、良好な環境づくりに貢献している。	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R07 年度末
	R08 年度末
	R09 年度末
R07 年度の到達目標(課題・改善策等)	
町内を巡回パトロールし、不法投棄ごみを早期回収する。 広報誌や回覧、看板設置などを通じて、住民・不法投棄者に啓発・警告していく。 不法投棄多発場所に看板を設置するとともに、警察と連携し不法投棄者の特定する。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R07 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R07 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係			
大 事 業 C D	02	(目標)		-					中事業 C D	18	(施策)		-			
		(政策)									(主要な取り組み)					
小 事 業 C D	02	可燃・不燃ごみ処理経費					事業年度	R03 ～ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	可燃ごみ排出量		
款項目	04	衛生費	02	清掃費	02	ごみ処理費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない	目標値	385		目標年度	令和12年度

(単位：千円)

	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額
○ 経 費 計	93,441	ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ)収集袋、粗大ごみシー ルを作製する。	84,640	76,446
1 報酬		ごみ収集袋・粗大ごみシーンを町内外の店に委託して販売し、 販売手数料を支出する。		
2 ～4給料手当等		ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ)の収集運搬 、陶磁器類の処理を、一般廃棄物収集運搬業者に委託して実施 する。		
5 災害補償費		より、ごみ分別を周知するため、アプリを活用し、それに係る アプリ使用料を支出する。	5,973	1,727
7 報償費		ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ)を処理する 可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するとともに、 陶磁器類の最終処分地である伊賀市に負担金を支出する。	5,973	1,727
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	4,968			
1 消耗品費	4,968			
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	740		746	711
12 委託料	25,019		23,797	23,439
13 使賃料	140		160	330
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	62,574		53,964	50,239
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	93,441	基準額・補助率・歳入科目コード等	84,640	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	13,388		13,910	
5 一般財源	80,053		70,730	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 4208】（廃棄物対策）「地域における清掃活動の促進」	
可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するなど可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理を図る。	
事業の概要	
町内で発生する一般廃棄物の処理に関する経費（可茂衛生負担金及びごみ袋作成、運搬委託料等）を支出する。	
事業の実績	
令和6年度 可茂衛生施設利用組合負担金 53,735千円 令和5年度 可茂衛生施設利用組合負担金 50,195千円 令和4年度 可茂衛生施設利用組合負担金 50,516千円 令和3年度 可茂衛生施設利用組合負担金 50,637千円 令和2年度 可茂衛生施設利用組合負担金 50,280千円 令和元年度 可茂衛生施設利用組合負担金 52,805千円 平成30年度 可茂衛生施設利用組合負担金 49,141千円 平成29年度 可茂衛生施設利用組合負担金 61,016千円	
事業の成果指標	事業の目標値
1人あたりの1日の生活系可燃ごみ排出量	単位 g/日
	R07 年度末 405
	R08 年度末
	R09 年度末
R07 年度の到達目標(課題・改善策等)	
可茂衛生事務組合の運営に対する負担金を支出するなど可燃・不燃ごみ等の一般廃棄物の適正な処理を図る。	

事務事業評価の結果(1次)	—	R07年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R07年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 7 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	10010000	水道環境課・環境係			
大事業 C D	51	(目標)		-				中事業 C D	35	(施策)		-				
		(政策)								(主要な取り組み)						
小事業 C D	20	上水道事業会計繰出金					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	上水道耐震化率		
款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	06	環境衛生総務費	小事業区分	新規・継続			□ 成果目標がない		目標値	55. 91	目標年度	令和12年度

(単位：千円)

	R 0 7 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(06 年度) 当初予算額	05年度 決算額
○ 経 費 計	5, 096		96	64
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金	5, 096		96	64

○ 財 源 計	5, 096	基準額・補助率・歳入科目コード等	96	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	5, 000			
5 一般財源	96		96	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 5301】（上水道・下水道）「上水道施設の整備・維持管理」	
公営企業会計（水道事業）の円滑な運営を図る。	
事業の概要	
公営企業会計（水道事業）への繰出金を支出する。	
事業の実績	
令和5年度 上水道耐震化率 56. 44% 令和4年度 上水道耐震化率 24. 68% 令和3年度 上水道耐震化率 27. 13%	
事業の成果指標	事業の目標値
基幹管路における耐震管の割合	単位 %
	R07 年度末 38
	R08 年度末
	R09 年度末
R07 年度の到達目標（課題・改善策等）	

事務事業評価の結果（1 次）	－	R07 年度の計画額	0 千円
事務事業評価の結果（2 次）	－	R07 年度の上限額	0 千円
<特記事項>			

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

